

公表日

2024 年 12 月 20 日

事業所名 こぼんはうすさくら さいたま宮原教室

保護者等数(児童数) 23名 回収数 16件(割合69%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	0	0	・いつも整然としており、十分なスペースがあると思う。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	0	1	・子ども一人一人に手厚い	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1	0	1	・自分の荷物を置く場所が分かりやすく、スムーズに準備できると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0	・整理整頓されていて、居心地よく過ごせる場所になっている。 ・常に清潔で安心している。 ・ゴミが落ちてなくてとても清潔 ・子どもの特性をととてもよくわかっていると思う	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	0	0	1	・半年に一回の面談で情報共有ができており、個々に応じた支援計画が作成されていると思う ・保護者との面談で事もの特性に合わせた計画になっていると思う ・親も大納得の支援を作成していただいている	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	1	・支援が具体的だと思う	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1	・色々な活動プログラムがあり、子どもがとても楽しんでいる	
保護者 への 説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	2	4	・通い始めなのでわからない ・こぼん他教室の交流は多いと思う	・幼稚園との交流行事などを提案したが、園のカリキュラム上困難との回答をいただいている
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	0	2	・保護者会で色々情報共有できてありがたい ・支援級、通常級、支援学校それぞれの話が聞けたのはとても勉強になった ・家族なども参加できる研修会があれば理解が深まると感じる	・保護者向けの研修会等も今後企画していきたい
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0	・気になったことをすぐに相談できるのでとてもありがたい ・親が気が付かないことも伝えていただくととても助かっている	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0	・面談で定期的に助言をいただいている	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	0	0	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	0		
保護者	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	0	0		

自 己 の 説 明 等	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2	0	0	・インスタがあまり更新されなくなった気がする	・更新頻度を増やしていけるよう努力いたします
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2	・認知している範囲に関して留意されている	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1	0	2	・毎月1日に避難訓練ができていてありがたい、どんな様子だったか教えてもらえると嬉しい	・ごはん作りや連絡帳を通じて年に数回お伝えしているが、必要に応じて情報提供をしていきたい
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1	0	1		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	・先生との信頼感を築いていると思う ・全く嫌がることなく安心して通えている	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	・毎回嬉しそうに通園している ・今日は何をするのかな？と楽しみにしている ・「明日はどこいくの？」「ごはんだよ」と言うと喜ぶ	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	・いつも細やかな目でサポートしていただき、ありがとうございます	

公表日

2024 年 12 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら さいたま宮原教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・個室もあり十分なスペースが確保されている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・鍵を付けるなど配慮されている	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・毎日の清掃	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・学習室(個室) を使用して対応が出来る	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・毎日の振り返り、月に一度の教室会議にて共有できている ・出勤日以外の業務連絡も把握できるシステムになっている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・日々の連絡帳やモニタリング面談時に、教室運営について意見があれば取り入れている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・会議にて業務の見直しなどの検討をしている ・小さなことでも上司に伝えやすい環境にあり、すぐに改善できることが多い	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・毎月の会議にて療育に関する指導が行われている	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・毎月のこぼんだよりにプログラムを伝えている ・子どもの発達と目標に応じたプログラムの作成を行っている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・年2回のモニタリングや面談後は職員と共有し、療育に繋げている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・会議や振り返りにて、児童カンファレンスを行い支援計画を作成している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・支援目標を全員で共有し、個々の支援方法を確認しつつ支援している ・支援計画は閲覧できるようになっている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・利用時毎に個々の記録を読み確認している ・状況に応じて一般的な方法のほかにも本人の興味や好きなことにも注目し、支援検討をしている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・個々にガイドラインを読み、ねらいを押しさえながら支援内容に生かしている	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・利用児童に対する適切な療育は何かなどチームで話し合っている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・職員間で話し合い、意見を出し合い活動内容を決めている ・業務日誌を確認し、固定化を防いでいる	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・こざくらクラスやうらんどろクラスなどの活動も組み合わせながら支援を行っている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・毎朝朝礼にて申し送り、当日の役割分担を共有している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎日支援終了後に振り返りをし、特に重要なことは記録にも残している	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・各児童個別の記録をしたうえで、目標と照らし合わせ支援の検証・改善に努めている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・年に2回のモニタリング、個別カンファレンスをし支援計画を見直している	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・各機関が連携しなければならない利用者のケース会議に見発管が参加している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・幼稚園、保育園、各事業所に保護者の意向のもと訪問・連携を行っている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・就学に関し、電話や文章での共有を各機関と行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者の意向のもと、文書を中心に共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者の意向のもと、文書を中心に共有している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・保育体験などイベントを通じ行っている	・幼稚園との交流行事などを提案したが、園のカリキュラム上困難との回答をいただいている
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡帳や送迎にて毎日の申し送りをしている。 ・保護者の意向のもと、適時面談を行い共通理解に繋げている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・参観、察り、運動会などのイベント自体がペアレントトレーニングの一環のため、様々な親子行事を通じて行っている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に行うとともに、質問などには丁寧に答えている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・アセスメントシートに保護者希望欄を設けており、支援計画や日々の支援の基となっている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・モニタリング時に読み合わせ、説明、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・連絡帳での困りごとの記載などについて適切な助言・支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・保護者会や参観、イベントなどで交流する機会や懇談の場を設けている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・随時相談を受け対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・毎月こぼん便りを発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵のある棚にて管理している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・口頭だけでは理解が困難な保護者に対して、簡単な文書とともにお伝えしたりと個々に応じた配慮をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・夏祭り、クリスマス会にて卒園生を招待している	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・月に一度避難訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・月に一度避難訓練を行っている	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約の際、確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・医師の指示書を保護者に確認している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・鍵をかけるなど安全管理には気を付けている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・契約時に説明している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハットがあった際には朝礼にて共有、文書の保管も行っている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・会議にて研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・現在該当の児童はいない	